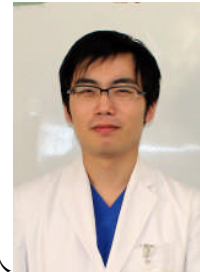


和歌山病院での実習を終えて



九鬼 惇人

今回実習させていただいた和歌山病院での1泊2日はとても印象深く、勉強の励みになったと思います。病院実習は普段は大学内の科が中心であるため、市中病院がどのような雰囲気か、などのことについてはあまり知る機会がありませんでした。和歌山病院まで送迎していただき、いざ先生方と話させてもらうと、とても和やかな、雰囲気のいい先生方、職員さんばかりでした。些細な質問にも丁寧に答えていただき、非常に勉強になりました。

特に印象に残ったのは南方院長がなされた胸部X線読影に関するセミナーでした。今まではX線画像をみても正直あまりよくわからない、ぼんやりとみているだけ、というような印象があり、苦手意識がありました。しかし、南方院長がなされたセミナーで、X線画像は何を見ており、どのような考え方をすればよいかといった根本をなしている考え方について教えていただき、今まで苦手意識のあったものが克服できたように感じました。

また、和歌山県唯一の結核病棟であり、その仕組みを教えていただくだけでなく、結核についてのセミナーや、呼吸器やマスクを実際にみることができました。結核は空気感染であり、座学でもその印象は強いですが、ではその対策について実際はどうしているのか、どこまで対策すれば十分であるかといえるかといった、座学だけではあまり実感しにくいようなさまざまな知識を深めることができましたと思います。

最後になりましたが、南方先生や駿田先生を始めとして多くの先生方、職員の方々にお忙しい中ご指導頂き、大変充実した実習となりました。2日間本当にありがとうございました。